

健康で美しい口腔をつくる 歯科衛生士のための審美歯科入門

宮崎真至 北原信也 天川由美子 編著

「健康で美しい」口腔をつくるために歯科衛生士ができることは？

- 「歯の色が気になる」「歯並びを整えたい」「笑顔をもっと美しくしたい」など、患者さんの“口腔の美しさ”への要望が高まるいま、歯科衛生士の臨床においても、健康の回復・維持のみならず、審美性への配慮が強く求められています。
- 本来、歯科医療の目的は、失われた形態と機能を回復するとともに審美性をも獲得することであり、口腔の美しさは、その到達点こそさまざまですが、職種を超え、また保険診療か自費診療かといった枠を超えて考慮すべき要素といえます。
- 本書では、「診療補助の精度を高める」「審美性を考慮しながら歯周基本治療を行う」などハイジニストワーク一つひとつを正確に、審美性を意識しながら進めることが審美歯科の始まりであり、審美歯科領域において歯科衛生士の役割がいかに重要であるかをビジュアルにご解説いただきました。

口腔に「健康」と「美」を共存させるには
歯科衛生士の力が不可欠！
患者さんの笑顔をもっと健康的に、
もっと美しくするための一冊

CONTENTS

Part.1 審美歯科 ハイジニストワーク・ベーシック

- ① カウンセリング・コンサルテーションの基本
- ② 治療計画を考慮して取り組む歯周基本治療
- ③ 概形印象・スナップ印象・石膏注入の基本
- ④ 歯科衛生士として知っておきたい補綴物材料・接着材料の特性と注意点

Part.2 審美歯科 ハイジニストワーク・アドバンス

- ① 診査・診断について知っておこう
— 審美性を図る基準とは？
- ② 精密印象採得を支えるアシスタントワーク
- ③ CR 充填時のアシスタントワーク
- ④ Q&A で学ぶ ホワイトニング成功への道
- ⑤ テンポラリーレストレーションとプロビジョナルレストレーション
- ⑥ 補綴物試適・装着時のアシスタント ここがポイント！

Part.3 症例から学ぶ 審美性を維持・向上させるハイジニストワーク

- ① 審美性を考慮したブラッシング指導
- ② 健康で美しい口腔を実現するためのコミュニケーション
- ③ 補綴物と軟組織へのダメージを最小限に抑えた歯周基本治療・メンテナンスを考える
- ④ 目的としてのホワイトニングから手段としてのホワイトニングへ
- ⑤ メンテナンス時、私はここを見えています
- ⑥ 歯科衛生士が「美しい」口腔をつくるためにできること

【コラム】医療界にも「サービス」の視点を！



B5判
128頁/オールカラー
定価3,150円
(本体3,000円+税5%)

医歯薬出版株式会社